

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		横浜市南部地域療育センター保育所等訪問支援事業所				
					公表日	令和8年 3月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8	2	訪問先やお子さんの状況に合わせて対応している。	今後も個別指導等で使用している教具教材を活用していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	1人のお子さんに対して1名の職員が対応している為適切。	訪問支援員の育成に努めていきます。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	多職種で情報共有する機会を設けている。訪問者全員に向けて事前と中間でレクチャーがある	所内全体で事業内容の共有をしていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	計画を立てる際に、保護者との面談を持ち、情報提供とともに意向の確認を行っている。	継続していきます。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	関係者が集まり、振り返りや意見交換をする機会が設けられている	継続していきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2	責任者によるレクチャーがある それぞれの専門職毎の研修、巡回訪問についての研修を行っている。	所内での研修を実施します。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	1	個別支援計画を複数人で確認している 来所回数少ない方には訪問前に子どもの様子を把握する機会を設けた。	児童発達支援管理責任者と訪問支援員で共有している。
	9	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	複数の職員で子どもに関わったり、情報の共有、支援計画を作る際も共有できた事は良かった。書式、記入方法の共有が必要。	児童発達支援管理責任者と訪問支援員で共有している。 記入方法等担当者間で共有します。
	10	個別支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	9	1	日程調整や訪問の際に園の意向を確認している。	今後も訪問時の話し合いの内容を踏まえて作成していきます。
	11	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	実際にどこまで取り入れているのか把握できていない部分もある。限られた訪問の中で丁寧な確認が必要。	個々のお子さんの成長を踏まえた支援をしていきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4	各専門職の評価に加えて、集団でのインフォーマルなアセスメントを行っている。	個別の評価は実施しており、多職種間で共有する内容については話し合っています。
	13	個別支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1		事業の目的や概要については共有しています。 引き続きガイドラインの内容について全職員が理解できるようにしていきます。
	14	個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	担当間で口頭と個別支援計画で行っている。	継続していきます。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	10	0	それぞれの園の状況を配慮し、尊重し、連携するよう務めている。	複数の訪問支援を受け入れている園への連絡は、混乱がないようにより詳細な案内をしています。	
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	報告書として紙面にて責任者と共有している	継続していきます。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		継続していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1	会議出席者は毎回固定ではない為、状況を共有して出席。	継続していきます。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		継続していきます。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	保護者の意向、希望を伺い、了承の情報共有を図っている。	継続していきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	7	研修として同行やスーパーバイズの機会を設ける等計画的な人材育成が必要。所内では各専門職の研修を充実している。	他の訪問支援事業所と連携を図り、支援の質の向上に努めます。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	3		センター内職員が参加している事について、担当者で情報共有していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	来所の機会や電話などで連絡をしている	継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	センター全体で保護者向けの学習室等が開催されている。	療育センター全体のサービスを積極的にご案内していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	就労されている方が参加しやすいよう土曜日に契約を設定し実施。	継続していきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	10	0	事前に園に訪問して説明している。 訪問時間が園毎に異なる為事前協議が必要。	継続していきます。 より丁寧な事前調整を行います
	29	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	事前に保護者から様子を聞き取り、目標にする。	継続していきます。
	30	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	10	0		継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	定期的ではないが訪問前後にやり取りして、必要な時には連絡頂けるように伝えている	継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3	センター全体としては取り組んでいる。	継続していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	面接日や場所は、ご兄弟のご都合も踏まえて親御さんと相談しています。	継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	5	センター全体として情報の発信をしているが、活用には検討が必要。	療育センター全体のホームページにアクセスしやすいように詳しいご案内をします。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	記録の持ち出しや記録の取り方などの留意点を、随時確認する必要がある	継続していきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	伝わりやすい、内容の工夫をしている。	継続していきます。
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9	1	保育の中で実現可能な方法を話し合っています。	複数の訪問支援を受け入れている園への連絡は、混乱がないようにより詳細な案内をしていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	9	1	保育後の時間に当日の様子を共有、園からの相談・質問等を伺い話し合いを行っている。	継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10	0	対面で報告、今後の課題と支援について伝えている。	継続していきます。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	録画録音禁止を紙面でもお伝えする準備をした。	継続していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	10	0	相談される事が多い。また、その場で解決しない相談内容によっては持ち帰り確認している	複数の訪問支援を受け入れている園への連絡は、混乱がないようにより詳細な案内をしています。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	センター全体として作成している。	継続していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2	何かあった場合には報告書とフローも定められており、共有しやすい環境にある	継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	何かあった場合には報告書とフローも定められており、共有しやすい環境にある	継続していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	センター内で実施しているが、もっと多岐にわたって研修があった方が良いと思う。	研修内容について継続検討していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	10	0		継続していきます。